

令和6年度事業報告書

〔 自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日 〕

公益財団法人 教科書研究センター

1. 教科書図書館の設置・運営

(1) 教科書図書館の在り方に関する検討

令和6年9月20日付で、センターが設置した検討委員会から「教科書研究センター附属教科書図書館の今後の在り方について」が提言された。情報技術の著しい進展やデジタル教科書の発行等を巡る環境も大きく変化していることも踏まえ、蔵書構成などのコレクションの在り方、閲覧サービスや管理運営の在り方などについて検討し順次対応している。

(2) 令和6年度使用教科書等の受贈

各教科書発行者31社より、令和6年度使用開始小学校教科書264点及び教師用指導書、高等学校教科書89点及び教師用指導書、特別支援教科書3点の寄贈を受けた。

(3) 教科書検定通年公開のための常設展示場の設置

令和7年度から使用される中学校及び高等学校教科書の検定に係る申請図書、見本本等に関する資料を展示公開した。

(4) 教科書等の収集・整理・保管及び教科書図書館の運営

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教科書および教師用指導書、並びにこれらに関連する図書、外国の教科書、その他教育研究資料等を収集、整理、保管し、教科書発行者や教科書関係者等の利用に供した。

(開館日…年末年始及び休日を除く月・火・水曜日。)

① 資料の受入れ (令和6年4月～令和7年3月)

・教科書	716件
・指導書	1,309件
・副読本	33件
・外国教科書	378件
・教育・研究資料	48件

小計 2,484件

(開館以来累計) 158,728件

② 図書館利用状況 (令和6年4月～令和7年3月)

・開館日	142日
・閲覧者	2,094人 (1日平均14.7人)
・複写 (カラー、マイクロフィッシュを含む)	1,388件 / 50,345枚
・写真・動画撮影	234件 / 8,664カット

(参考) 利用者内訳

年度 区分	令和 6 年度		令和 5 年度	
教科書発行者	124 人	(6%)	76 人	(4%)
小中高教員	160 人	(8%)	164 人	(8%)
学 生	894 人	(43%)	778 人	(40%)
研 究 者	382 人	(18%)	347 人	(18%)
出版放送関係	110 人	(5%)	151 人	(8%)
その他一般	424 人	(20%)	427 人	(22%)
計	2,094 人		1,943 人	

③ 教科書等 PDF 化作業

現在および今後の図書館資料の劣化、破損等を考慮し、古い教科書から順次 PDF 化作業を実施した。

・令和 6 年 5 月～6 月 教科書等 1,321 冊

④ 外国教科書等の受贈・寄贈

ア. 受贈図書

康軒文教事業股份有限公司（台湾）より小学校及び中学校教科書 34 冊、を受贈。國家教育研究院教科書圖書館（台湾）より小学校及び高等学校教科書 261 冊を受贈。

イ. 寄贈図書

外国教科書相互交換として、國家教育研究院教科書圖書館（台湾）、康軒文教事業股份有限公司（台湾）、人民教育出版社（中国）、社團法人韓國教科書協會（韓国）、韓國教科書研究財団（韓国）の 5 団体それぞれに、令和 6 年度使用の小学校及び高等学校教科書 194 冊を寄贈。

⑤ 外国教科書の取扱い

平成 29 年度モラロジー研究所から寄贈された外国教科書（97 か国約 6,700 冊）の受け入れを引き続き進めた。

(5) インターンシップ受入れ

本年度は希望がなかったため受け入れを行わなかった。

2. 教科書等に関する調査研究

(1) 教科書の在り方と望ましい役割に関する研究

対話的な学びを促進し、学習者自身による知の創造を可能とするモデル教科書を開発し、学習者を中心とした学習観や授業観に基づく教科書の役割や機能、望ましい在り方について調査研究を行った。(3年計画1年次)

研究者 山内 敏男 兵庫教育大学社会系教科マネジメントコース教授 他

(2) 教科書に関する調査研究

① 教科書の世界的潮流に関する調査研究

<情報>

社会の急速なDX化が進展する中、DX化先進国における教科書の潮流について、特に韓国の教科書(情報)について調査分析を行った。

研究者 中川 哲 社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科教授 他

<算数・数学>

先進諸外国における算数・数学の教科書について調査分析を進めた。(3年計画1年次)

研究者 西村 圭一 東京学芸大学教育学部教授 他

② 教員が求める英語学習者用デジタル教科書の機能に関する調査研究

全国で英語学習者用デジタル教科書を実際に活用している教員に対して、活用場面やその機能・効果等について実態調査を行い、調査結果の分析を進めた。(3年計画1年次)

研究者 斎藤 玲 東北大学大学院情報科学研究科/災害科学国際研究所助教 他

③ 教科書の活用に関する調査研究

ア. 教科書研究センターの研究成果物を教材とした大学・大学院のシラバス開発と授業実践に関する研究—国語科教職課程関連科目を中心として—

教科書研究センターの刊行物「新しい教科書の使い方」を教材として使う大学・大学院教職課程関連科目におけるシラバスを作成し、授業実践を行うとともに、その効果に関する評価を行った。(3年計画2年次)

研究者 松本 修 玉川大学大学院教授 他

イ. 複線型授業に向けたデジタル教科書活用に関する実践研究

デジタル教科書を活用した授業実践をとおして、子供を主体とした次世代の授業づくりにおいて活用されるデジタル教科書の機能等についての調査分析を行った。

研究者 佐藤 和紀 信州大学学術研究院教育学系准教授

三井 一希 山梨大学教育学部准教授

大久保紀一郎 京都教育大学教職キャリア高度化センター講師

ウ. 主体的・対話的で深い学びを実現するデジタル教科書活用の実証研究

デジタル教科書と多種多様な教材、学習支援ソフトウェアを効果的に活用した授業実践を

行い、授業実践前に整理した「授業改善の期待効果」と授業実践及び事後の振り返りで取得した「学習者の視点での学び」を比較し、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善効果の検証を進めた。(3年計画1年次)

研究者 小林 祐紀 放送大学准教授

エ. 子供主体の学びにおける教員養成課程の学生を対象とした教科書の使い方に関する実践研究
先進的な授業実践の調査を通じて、子供自身が教科書を使って学習を進めるための紙及びデジタルの「教科書の使い方」の指導法について明らかになった知見を元に、教員養成課程において授業を実践し、評価を行った。(2年計画1年次)

研究者 八木澤史子 千葉大学教育学部助教 他

オ. 子供主体の学びにおける教員を対象とした教科書の使い方に関する調査研究
先進的な授業実践の調査を通じて、子供自身が教科書を使って学習を進めるための紙及びデジタルの「教科書の使い方」の指導法の調査及び評価を行った。(2年計画1年次)

研究者 中尾 教子 鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科教授 他

④ 教員養成大学と連携した調査研究

ア. 小中学校の外国語科に関する学習者用デジタル教科書の活用に関する研究
教員養成大学と連携し、外国語科(英語)の学習者用デジタル教科書を活用した授業方法の開発・改善や教員研修プログラムの開発などに関する調査研究を進めた。(3年計画2年次)

実施大学 愛知教育大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、鳴門教育大学

イ. 小中学校の算数・数学科に関する学習者用デジタル教科書の活用に関する研究
算数・数学の学習者用デジタル教科書の活用を通じて行う、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する授業の改善や開発、学習者を中心とした授業デザインなど学習観・授業観・教科書観の転換に関する研究、「令和の日本型学校教育」を担う教員の育成に係る教職科目や研修プログラムの開発などを進めた。(3年計画1年次)

実施大学 北海道教育大学、上越教育大学、福岡教育大学

⑤ 教育委員会と連携した調査研究

教育委員会において、域内の教員に対して当センターで作成した研究成果を活用した研修等を行い各学校における授業改善につなげ、その効果等を検証した。

連携する教育委員会：二戸市教育委員会 (2年計画2年次)

山梨県教育委員会 (2年計画1年次)

(3) 海外教科書制度等に関する調査研究

① 海外教科書情報研究

諸外国の教科書事情に関する調査研究成果(令和2. 3. 31付報告書公表)をもとにホームページで公開している海外教科書情報を更新した。

更に、令和6年度は令和7年度報告書改訂に向けて、検討した対象国、調査項目等に基づき

調査研究を進めた。

② 個別最適な学びと教科書の在り方に関する国際比較調査～諸外国におけるデジタル教科書政策と実相（4年計画の2年次）

先進諸外国（デンマーク）におけるデジタル教科書等の使用実態調査を行い、我が国との比較を行うなど調査分析を行った。

研究者 二宮 皓 広島大学名誉教授 他

（4）研究助成

① 大学院生の教科書に関する研究論文作成に対する助成

修士又は博士課程に在学する大学院生の教科書に関する論文作成に対する助成を行った。25件の応募があり、10件を採択した。（10回目）

本年度に提出された論文については、その概要を「センター通信」に掲載するとともに、論文集を作成した。また、優れた研究論文については理事会で発表を行った。

② 若手研究者に対する教科書研究助成

将来の教科書研究者を育て、教科書等に関する研究の振興を図るため、若手研究者による教科書及びこれに関連する教材に関する研究に対する助成を行った。39件の応募があり、8件を採択した。（3回目）

③ 小中高等学校等教科書研究助成

当センターの研究成果物などを活用して校内研修や教育実践等を行う学校に対して助成を行い、授業づくりやその改善につなげるとともに、その効果検証等を行った。

助成対象校 千葉県、東京都、富山県、長野県、島根県、大分県の小学校5校、
義務教育学校2校、中学校3校

3. 教科書に関する研修・普及・広報事業

(1) 研究成果の作成・配布

デジタル教科書に関する調査研究 研究成果報告書（令和6年6月）

(2) 「センター通信」の発行

「センター通信」No.131（令和6年4月）、No.132（令和6年6月）、No.133（令和6年10月）、No.134（令和7年1月）を発行し、教科書発行会社・教育関係機関に配布した。（1,500部）

※No.132 エストニア調査・IARTEM2024（パリ大会）報告臨時増刊号

(3) 研究成果の普及・発信及び広報

① 研究成果を活用した教員研修プログラム作成

大阪教育大学が作製する教員研修プログラムのコンテンツとして当センターの研究成果を活用した講座を制作するための準備を進めた。

② 主体的・対話的で深い学びを実現するデジタル教科書活用に係る普及・啓発事業

当センターで作成した「すぐに使える学習者用デジタル教科書活用事例集」を活用した事例集、研究案等を同胞した研修パッケージの企画・作成を進めた。（3年計画1年次）

研究者 佐藤 幸江 放送大学客員教授

③ 日本教育工学協会全国大会等におけるセミナー等の開催及び研究成果資料等の配布

ア. 「全国初等教育研究会教育シンポジウム」 7月21日東京

ブース出展による資料配付（参加者約130名）

イ. 「関西教育 ICT 展」 7月25日～26日大阪

ワークショップの開催及びブース出展による資料配付（参加者約6,000人）

ウ. 「全日本教育工学研究協議会全国大会」 7月25日～26日大阪

ワークショップの開催及びブース出展による資料配付（参加者約1,000人）

エ. 「教科書・デジタル教科書活用セミナー」 11月24日山梨

セミナーの開催及び資料配付（参加者約40名）

オ. 「学習者主体の授業における教科書活用セミナー」 1月26日京都

セミナーの開催及び資料配付（参加者約40名）

④ 「教科書研究イノベーションラボ」を活用した普及・広報・発信

大阪教育大学天王寺キャンパス「みらい教育共創館」において、当センターの研究成果を活用した『みらい教育セミナー』等を開催した。

ア. 「学習者用デジタル教科書(英語)の活用に関する調査研究中間報告会」(8月21日)

愛知教育大学・大阪教育大学・兵庫教育大学・鳴門教育大学)による中間報告及びシンポジウムの開催（参加者約80名）

イ. 「デジタル教科書の新たな可能性を探る」(1月11日)（参加者16名）

ウ. 「GIGA スクール時代の教科書活用ワークショップ」(2月22日)（参加者45名）

(4) セミナー等の開催

- ① テーマ 「エストニア調査 及び IARTEM2024(パリ大会)報告」
- ・講師 二宮皓 氏 (広島大学名誉教授)、松島充 (香川大学教授)
 - ・日時 令和6年9月20日
 - ・場所 教科書研究センター4階 第2会議室
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約65名
- ② テーマ 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る外国語科の授業づくり～教科の特性を生かしたICTの活用を通して～」
- ・講師 直山木綿子 関西外国語大学教授
 - ・日時 令和6年10月19日
 - ・場所 鳴門教育大学 総合学生支援棟3階
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約100名
- ③ テーマ 「教科書の未来を考えるー北欧諸国の事例からー」
- ・講師 林 寛平 氏 (信州大学准教授)、渡邊 あや 氏 (津田塾大学教授)
本所 恵氏 氏 (金沢大学教授)
 - ・日時 令和6年12月17日
 - ・場所 津田塾大学小平キャンパス
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約160名
 - ・共催 北欧教育研究会

(5) 各国からの研修、視察団の受け入れ

JICA等を通じた研修や各国からの視察団の積極的な受け入れ対応等を行う。

- ① 「韓国教科書研究財団」 12月3日
デジタル教科書の現状と課題などについて意見交換を行った。
ファンボウン理事長、ユスンギ教科情報館長、ビョンジャジョン研究部長
- ② 「国際デジタル教科書フォーラム(台湾)」への参加 12月8日
台湾・香港・韓国とともにデジタル教科書の現状と課題について発表を行った。
千石雅仁理事長、伊東千尋理事、新津勝二事務局長
- ③ 「台北市和平実験小学校」 1月20日
次世代に渡る教科書の在り方などについて意見交換を行った。
黄志順校長以下18名の教員
- ④ 「国家教育研究院(台湾)」 3月13日
デジタル教科書の活用と教科書の在り方に関して意見交換を行った。
林従一院長、王立心主任、吳明錡秘書

4. その他

(1) 教科書研究センター施設利用規則に基づき施設の一部を事務室及び会議室として次のとおり貸付を行った。

ア. 家屋貸付

使用団体名	使用面積	賃借料月額
	m ²	千円
教科書協会	132	196
全国教科書供給協会	111	164
教科書著作権協会	72	106
計	315	466

イ. 会議室等貸付

会議室名	使用時間	
	時間数	日数
第1会議室	0時間	0日
第2会議室	67時間	0.5日
第4会議室	114時間	1.5日
第5会議室	19時間	0日
調査相談室	41時間	0.5日

5. 賛助会員名簿

一般

令和7年3月現在

会員名	会員名	会員名
artience(株) 王子製紙(株) (株)教育新聞社 教科書販売(株) 新生紙パルプ商事(株) (一社)全国教科書供給協会 ダイニック(株) 大日本印刷(株) (株)中央本社	(株)トーハン 凸版印刷(株) 新村印刷(株) (株)日教販 日本紙通商(株) (株)日本教育新聞社 日本出版販売(株) 日本製紙(株) (株)文理	明治図書出版(株) (株)リーブルテック

(計20社)

教科書発行者

令和7年3月現在

会員名	会員名	会員名
東京書籍(株) 大日本図書(株) 実教出版(株) 開隆堂出版(株) 学校図書(株) (株)三省堂 教育出版(株) (株)教育芸術社 (株)清水書院	光村図書出版(株) (株)帝国書院 (株)大修館書店 (株)新興出版社啓林館 (株)山川出版社 (株)音楽之友社 数研出版(株) 日本文教出版(株) (株)明治書院	(株)二宮書店 (株)第一学習社 (株)桐原書店

(計21社)

6. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

◎処務の概要

1. 役員等に関する事項

(1) 理事、監事名簿

任期

自 令和5年6月20日

至 令和6年度に関する定時評議員会終結時

○印：資金運用委員会委員

役職名	氏名	現職名	資金
理事長	千石雅仁	元・東京書籍㈱代表取締役社長	○
副理事長	清水潔	弁護士 (TMI 総合法律事務所)	○
* 常務理事	白間竜一郎	(公財)教科書研究センター常務理事 (資金運用執行責任者)	○
理事	赤堀侃司	東京工業大学名誉教授・(一社)ICT CONNECT 21 会長	
〃	天笠茂	千葉大学名誉教授	
〃	石島美也子	弁護士 (石島法律事務所所長)	
〃	伊東千尋	教育出版㈱代表取締役社長	
〃	小田良次	実教出版㈱代表取締役社長	○
〃	岸田和明	慶應義塾大学文学部教授	
〃	佐々木秀樹	日本文教出版㈱代表取締役社長	○
〃	鳩貝太郎	東京都立大学客員教授・国立教育政策研究所名誉所員	
監事	濱高大	市ヶ谷経理税理士法人代表社員	
〃	市川かおり	㈱教育芸術社代表取締役社長	

* 常勤の役員は常務理事のみ。他は非常勤役員。

(2) 評議員名簿

任期 (自 令和 5 年 6 月 20 日
至 令和 8 年度に関する定時評議員会終結時)

役 職 名	氏 名	現 職 名
評 議 員	大 熊 隆 晴	開隆堂出版(株)代表取締役会長
〃	鎌 田 和 宏	帝京大学教育学部教授
〃	川 又 英 宏	(一社) 全国教科書供給協会会長
〃	小 泉 与 吉	全国連合小学校長会事務局長
〃	佐 藤 清	(株)帝国書院代表取締役社長
〃	佐 藤 諭 史	(株)新興出版社啓林館代表取締役社長
〃	佐 藤 幸 江	放送大学客員教授
〃	澤 田 真 弓	星槎大学大学院教授・国立特別支援教育総合研究所客員研究員 (評議員会 会長の職務代行者)
〃	鈴 木 一 行	(株)大修館書店代表取締役社長
〃	錢 谷 眞 美	(公財) 新国立劇場運営財団理事長 (評議員会会長)
〃	野 澤 伸 平	(株)山川出版社代表取締役会長
〃	原 富美夫	元・全国市町村教育委員会連合会事務局長
〃	富士道 正 尋	全日本中学校長会事務局長
〃	星 野 泰 也	数研出版(株)代表取締役社長 (評議員会会長の職務代行者)
〃	宮 本 久 也	全国高等学校長協会事務局長
〃	吉 田 直 樹	光村図書出版(株)代表取締役社長
〃	吉 水 裕 也	兵庫教育大学理事 (副学長)

(注) 任期 原 富美夫 : 自 平成 5 年 6 月 20 日 至 令和 6 年 6 月 30 日 (辞任)

(3) 調査研究企画委員名簿

任期 (自 令和 4 年 7 月)
 (至 令和 6 年 6 月 末)

役 職 名	氏 名	現 職 名	専 門 分 野
委員長	天 笠 茂	千葉大学名誉教授	学校経営学
副委員長	二 宮 皓	広島大学名誉教授	比較教育
委員	卯 城 祐 司	筑波大学人文社会系教授	外国語教育
〃	岸 田 和 明	慶應義塾大学文学部教授	図書館・情報学
〃	中 川 一 史	放送大学教授	教育工学
〃	長 島 啓 記	早稲田大学名誉教授	比較教育
〃	西 村 圭 一	東京学芸大学教育学部教授	数学教育
〃	鳩 貝 太 郎	東京都立大学客員教授・国立教育政策研究所名誉所員	理科教育
〃	細 野 二 郎	教科書研究センター参与	教科書学
〃	松 本 修	玉川大学教職大学院教授	国語教育
〃	谷田部 玲 生	桐蔭横浜大学法学部教授	社会科教育
〃	山 本 智 子	光村図書出版(株)編集本部本部長	国語
〃	児 島 素 志	教育出版(株)編集局社会科編集長	社会
〃	藤 原 智 志	(株)新興出版社啓林館数学編集部第 1 課課長	算数・数学
〃	中 村 潤	大日本図書(株)編集局小学校理科部長	理科
〃	野 口 敦 史	大日本図書(株)小学校理科部長	理科
〃	太 田 綾 子	大日本図書(株)編集局編集三部中学校理科編集長	理科
〃	榮 彰 子	東京書籍(株)編集局英語編集部長代理中学校英語編集長	英語
〃	倉 本 晴 彦	日本文教出版(株)取締役編集本部長	芸術
〃	山 浦 弘 照	実教出版(株)第一編修部編修第 3 課長	職業

(注) 中 村 潤：令和 4 年 12 月 (辞任)

野 口 敦 史：令和 4 年 12 月 (就任)

野 口 敦 史：令和 5 年 6 月 (辞任)

太 田 綾 子：令和 5 年 7 月 (就任)

任期 (自 令和 6 年 7 月)
 (至 令和 8 年 6 月 末)

役 職 名	氏 名	現 職 名	専 門 分 野
委員長	天 笠 茂	千葉大学名誉教授	学校経営学
副委員長	松 本 修	玉川大学教職大学院教授	国語教育
委員	山 内 敏 男	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授	社会科教育
〃	西 村 圭 一	東京学芸大学教育学部教授	数学教育
〃	田 代 直 幸	常葉大学大学院学校教育研究科教授	理科教育
〃	投 野 由紀夫	東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授	英語教育
〃	島 田 英 昭	信州大学学術研究院教育学系教授	教育心理学
〃	益 川 弘 如	青山学院大学教育人間科学部教授	学習科学、認知科学
〃	姫 野 完 治	北海道教育大学教授 (札幌校)	教師教育学
〃	澤 野 由紀子	聖心女子大学現代教養学部教授	比較教育
〃	渡 邊 あ や	津田塾大学学芸学部教授	比較教育
〃	丹 羽 登	関西学院大学教育学部教授	特別支援教育
〃	高 木 まさき	横浜国立大学名誉教授・教科書研究センター統括研究監	国語教育
〃	野 田 由美子	光村図書出版(株)第一編集部小学校国語課長	国語
〃	児 島 素 志	教育出版(株)編集局社会科編集長	社会
〃	藤 原 智 志	(株)新興出版社啓林館数学編集部第 1 課課長	算数・数学
〃	太 田 綾 子	大日本図書(株)編集局中学校理科編集長	理科
〃	榮 彰 子	東京書籍(株)編集局英語編集部長中学校英語編集長	英語
〃	倉 本 晴 彦	日本文教出版(株)取締役編集本部長	芸術
〃	山 浦 弘 照	実教出版(株)第一編修部長	職業

(注) 高 木 まさき : 令和 7 年 2 月 (就任)

(4) 特別研究員名簿

 任期 { 自 令和5年4月
至 令和7年3月末 }

氏名	現職名	専門分野
安藤 明伸	広島工業大学情報学部情報コミュニケーション学科教授	技術教育
磯崎 哲夫	広島大学大学院人間社会科学部研究科教授	理科教育 地学
内ノ倉 真吾	鹿児島大学法文教育学域教育学系准教授	理科教育
*2 大久保 紀一朗	京都教育大学教職キャリア高度化センター講師	教育工学
岡部 恭幸	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授	数学教育
小田 理代	麗澤大学准教授	コンピュータサイエンス
鴨川 明子	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	比較教育 東南アジア
小林 祐紀	放送大学教養学部准教授	教育工学
齊藤 忠彦	信州大学教育学部教授	音楽教育
*2 榊原 範久	上越教育大学大学院学校教育研究科教授	教育工学
*2 佐藤 和紀	信州大学教育学部准教授	教育工学
佐藤 寿仁	岩手大学教育学部准教授	数学教育
澤野 由紀子	聖心女子大学現代教養学部教授	比較教育 RUS
金 龍哲	東京福祉大学教育学部教授	比較教育 CHN
高木 幸子	新潟大学大学院教育実践学研究科教授	家庭科教育
*2 高橋 純	東京学芸大学教育学部教授	教育工学
辰野 裕一	元・教科書研究センター常務理事	教育行政学
田中 光晴	文部科学省総合教育政策局調査企画課外国調査係	比較教育 KOR
*1 中川 哲	株式会社 EdLog 代表取締役社長	教育工学
長島 啓記	早稲田大学名誉教授	比較教育 DEU
*2 中尾 教子	神奈川工科大学情報教育研究センター准教授	教育工学
中村 和弘	東京学芸大学教育学研究科教授	国語教育
丹羽 登	関西学院大学教育学部教授	特別支援教育
藤井 穂高	筑波大学人間系教育学域教授	比較教育 FRA
藤森 裕治	文教大学教育学部教授	国語教育
星野 由子	千葉大学教育学部准教授	英語教育
町田 智久	国際教養大学専門職大学院英語教育実践領域教授	英語教育
*2 三井 一希	山梨大学大学院総合研究学部教育学域准教授	教育工学
村井 万寿夫	北陸学院大学人間総合学部教授	教育工学
森 有希	高知大学大学院総合人間自然科学研究科教授	道德教育
*2 八木澤 史子	千葉大学教育学部助教	教育工学
山内 敏男	兵庫教育大学学校教育研究科教授	社会科教育
山田 芳明	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授	美術科教育
渡邊 あや	津田塾大学学芸学部教授	比較教育 FIN

*1: 研究顧問

*2: 連携研究員

(注) 榊原 範久: 令和6年11月(就任)

2. 職員に関する事項

(1) 事務局職員（非常勤職員を含む。）

氏名	職名	採用年月日	備考
高木 まさき	統括研究監	令和 6. 4. 1	
新津 勝二	事務局長、兼総務部長、兼附属教科書図書館副館長	令和 6. 6. 1	採用時参与, 令和6.7.1昇任
上口 孝之	事務局長、兼総務部長	令和 元. 6. 1	採用時参与, 令和元7.1昇任
小滝 恵子	総務部庶務主任	平成 21. 4. 1	
平野 佳那子	総務部職員	令和 2. 4. 1	
山下 愛	総務部会計主任	平成 19. 4. 1	
小島 りら	総務部職員	令和 3. 3. 1	
郡山 直子	図書館係長、司書	平成 25. 9. 1	
本間 亜希子	図書館係調査主任、司書	令和 2. 4. 1	

(2) 退職者

上口 孝之（事務局長）

令和6年6月30日付け

3. 会議に関する事項

(1) 通常理事会

	開催日時	開催場所	議 題
40回	6. 5. 30(木) 14時00分～ 15時00分	教科書研究センター	議事 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度収支決算について 報告事項 1. 職務執行状況報告（令和6年3月13日～令和6年5月29日） 2. 資金運用状況報告 その他 1. 人事案件について 2. その他
41回	6. 10. 21 (月) 14時00分～ 15時00分	教科書研究センター	議事 1. 大学院生の教科書研究論文助成の助成対象について 2. 規程の改正について 3. 第14回臨時評議員会の開催について 報告事項 1. 教科書研究センター創立50周年記念関係事業について 2. 職務執行状況報告（令和6年5月30日～令和6年10月20日） 3. 資金運用状況報告 その他 教科書研究センターの広報活動について

42回	7.3.19 (水) 14時00分～ 15時00分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若手研究者に対する教科書研究助成の審査について 2. 令和7年度事業計画について 3. 令和7年度収支予算について 4. 令和7年度の資金運用の執行方針及び計画について 5. 令和7年6月定時評議員会の開催について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職務執行状況報告 (令和6年10月21日～令和7年3月18日) 2. 資金運用状況報告 3. 公益財団法人教科書研究センターと国立大学法人兵庫教育大学との連携協力に関する協定書 <p>その他</p> <p>令和5年度 大学院生の教科書研究論文助成事業 優秀賞発表及び表彰式</p>
-----	---------------------------------	-----------	--

(2) 定時評議員会

	開催日時	開催場所	議 題
14回	6.6.20 (金) 15時00分～ 16時00分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度収支決算について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金運用状況報告

(3) 臨時評議員会

	開催日時	開催場所	議 題
14回	7.3.19 (水) 15時30分～ 16時30分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度事業計画について 2. 令和7年度収支予算について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金運用状況報告 2. 令和7年6月定時評議員会の開催について 3. その他 <p>教科書研究センターの広報活動について</p>

(4) 監査

- 令和5年度業務執行状況監査 令和6年5月23日
- 令和5年度収入支出決算監査 ”
- 令和5年度財産管理状況監査 ”

(5) 各種会議

会 議 名	回数
資金運用委員会	2
調査研究企画委員会	2
附属教科書図書館の今後の在り方に関する検討委員会	2

4. 契約に関する事項

- 建物管理委託（整備、清掃、設備点検等）
- 空調設備機器保守
- 昇降機保守
- その他、電話機、複合機等、パソコン等のリース契約を行っている。